

横浜市第8号ESCO事業者を募集！！

～横浜市青葉区総合庁舎ほか2施設 ESCO 事業～
～8月21日より公募開始～

横浜市第8号ESCO事業として青葉区・都筑区総合庁舎、横浜国際プールにESCO事業を導入します。

導入理由

- 平成16年度策定の「横浜市公共建築物 ESCO 事業導入計画」において、青葉区・都筑区総合庁舎は民間資金活用型 ESCO 事業による省エネルギー効果が大きく、光熱水費の低減が図れることが見込まれています。また、横浜国際プールについても、省エネルギー診断の結果、大きな省エネルギー効果が見込まれることから、3施設を一括しESCO事業として公募します。
- 今回の事業は、省エネルギー化への提案から機器更新等の設計・施工、維持管理、資金調達までを全て提案事業者が行う民間資金活用型 ESCO 事業です。

公募の特色

- 提案にあたっては、全体での省エネルギー率を3%以上および二酸化炭素排出の削減効果を3%以上、光熱水費削減額は年間850万円以上を前提にしています。
- 市内企業の参画が必須で、市内企業が参加グループの一員となることを条件とする募集です。
- 募集要項は、8月21日からホームページに公開します（ダウンロード可能）
<http://www.city.yokohama.jp/me/machi/archi/esco/index.html> また8月21日～8月23日まで下記にて配布します。（時間 9:00～12:00、13:00～17:00）

配布場所

横浜市まちづくり調整局公共建築部
保全推進課 省エネルギー推進担当
横浜市中区尾上町2丁目18 YSビル3階
Tel 671-3996

公募スケジュール

- ・公募：H19.8.21～9.3(参加表明)
- ・事業者選定：H19.12
- ・議会承認(予算)：H20.3
- ・本契約：H20.8
- ・工事完了：H21.3
- ・ESCOサービス開始：H21.4～

横浜市公共建築物 ESCO 事業導入計画概要

横浜市では、公共建築物のESCO事業を効率的に推進するために、既存施設の省エネルギー診断や事業実現性の検討などを行い、事業実施可能な施設へESCO事業を導入する計画を平成16年度に策定しました

公募施設概要

- 横浜市青葉区総合庁舎
 - ・所在地：横浜市青葉区市ケ尾町31番地4
 - ・建築構造：SRC造 地上4階、地下1階
 - ・延床面積：22,593㎡
 - ・建物竣工年：1995年
- 横浜市都筑区総合庁舎
 - ・所在地：横浜市都筑区茅ヶ崎中央32番1号
 - ・建築構造：RC造地上6階、地下1階
 - ・延床面積：30,764㎡
 - ・建物竣工年：1995年
- 横浜国際プール
 - ・所在地：横浜市都筑区北山田七丁目3番1号
 - ・建築構造：SRC造地上3階、地下2階
 - ・延床面積：35,877㎡
 - ・建物竣工年：1998年

提案審査

- 提案の審査は、外部委員による「横浜市 ESCO 事業提案審査委員会」において公平に審査し、最優秀提案 1 件及び優秀提案を数件選定します。

横浜市 ESCO 事業提案審査委員会委員

	氏 名	職 名	役 割
委員長	飯田 訓正	慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科 教授	学識経験者 (エネルギー部門)
委員 (職務代理者)	吉田 聡	国立大学法人 横浜国立大学大学院 環境情報研究院 准教授	学識経験者 (建築部門)
委員	阿部 豊	日産自動車株横浜工場 工務部工務課 課長	建築設備部門
	三枝 康雄	株浜銀総合研究所地域戦略研究部 部長	事業計画部門